農林漁業体験の取組

令和4年度消費・安全対策交付金 地域での食育の推進事業

稚魚放流や伝統的漁法で漁業体験

事業実施主体：京都市（京都府）

○ 健康長寿のまち・京都食育推進プランにおいて、京都の食文化の保護・継承が課題で、京の食文化をより多くの市民が認知し、次世代へ引き継ぐことが課題となっている。

○ 市内の河川の漁業に従事している方に指導してもらいながら漁業体験することにより、地域の食文化の保護・継承、地元の漁業や食材への理解の向上を図る。

○ 漁業者と小中学校の地域ぐるみの交流の場とし、関係者とともに試食を行うことで共食の場としても活用している。

【取組の内容】

○ 京都市内の河川（上桂川、保津川、鴨川）の各漁業協同組合が行っているアユやアマゴの稚魚の放流や、伝統的漁法の「ゴリ押し漁」、投網による採捕を、長年地元の漁業に従事している方に指導してもらいながら体験。
○ 地元食材である天然アユやゴリの食味体験により、漁業の果たす役割や地元の食材の魅力の理解を深める。
○ 市内の4つの小中学校で延べ359名が体験。

稚魚放流

試食の写真

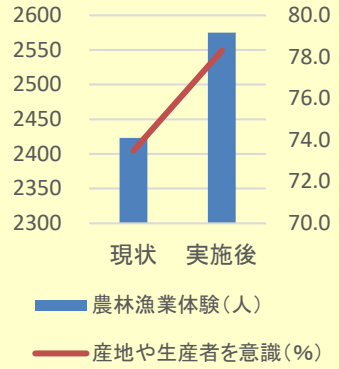
ゴリ押し漁

【取組の成果】

○ 京都の食文化保護・継承や地域の食材の魅力の再発見につなげることができた。

○ 体験した小中学生をとおして、体験者の家族に意識や行動の変化を促す効果も期待できる。

○ 体験内容を京都市ホームページで情報発信。

○ 農林漁業体験の体験者数の増加
現状値 2,423人 → 取組実施後 2,575人
※ 農業体験の人数を含む。

○ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
現状値 73.5% → 取組実施後 78.3%
※ 農業体験の実績を含む。